

エコアクション21



環境経営レポート



(対象期間：令和3年9月～令和4年8月)



発行日：令和4年12月31日



松田建設

目次

・事業所の概要	P1
・沿革・組織図	P2
・認証・登録の範囲	P3
・実施体制図	P4
・環境経営方針	P5
・環境経営目標	P6
・環境経営計画	P7
・環境経営目標の実績	P8
・環境経営目標（原単価）の評価結果	P9
・環境経営計画の取組結果とその評価、 今後の取組み	P10
・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反・訴訟の有無	P11
・代表者による全体の取組状況の評価と見直し	P11

Out Line

事業所名 松田建設 株式会社
代表者 代表取締役 松田正則
所在地 〒849-2201 佐賀県武雄市北方町大字志久 2 5 7 2 - 4
[TEL] 0 9 5 4 - 3 6 - 4 3 8 1
[FAX] 0 9 5 4 - 3 6 - 4 3 8 6
[WEB] <http://www.matsuda-habita.com>
[E-Mail] info@matsuda-habita.com
創 立 昭 4 0 年 2 月 1 日
資 本 金 4 , 8 0 0 万円
従業員数 29 名

有資格者

一級建築士	4 名	一級土木施工管理技士	1 名	液化石油ガス設備士	3 名
二級建築士	3 名	二級土木施工管理技士	3 名	消防設備士	1 名
監理技術者資格者	8 名	一級配管技士	1 名	危険物取扱免状（乙種）	1 名
一級建築施工管理技士	7 名	二級配管技士	1 名	佐賀県登録解体工事	2 名
二級建築施工管理技士	2 名	一級管工事施工管理技士	2 名	佐賀県木造住宅耐震診断登録建築士	1 名
住宅省エネルギー設計技術者	5 名	二級管工事施工管理技士	6 名	佐賀県公安委員会	1 名
住宅省エネルギー施工技術者	5 名	給水装置工事主任技術者	3 名	宅地建物取引主任者	1 名
住宅ローンアドバイザー	1 名	浄化槽設備士	4 名	二級建設業経理事務士	2 名

建築業の許可 許可番号 / 佐賀県知事許可（特 - 2 9）第 2 9 1 3 号

建築工事業	大工工事業
左官工事業	とび・土工工事業
石工事業	屋根工事業
タイル・れんが・ブロック工事業	鋼構造物工事業
鉄筋工事業	板金工事業
ガラス工事業	塗装工事業
防水工事業	内装仕上工事業
熱絶縁工事業	建具工事業

許可番号 / 佐賀県知事許可（般 - 2 8）第 2 9 1 3 号

土木工事業	管工事業
水道施設工事業	

事業内容

建設業総合プロデュース

- ・ 建築工事一式
- ・ 土木工事一式

一級建築士事務所

（佐賀県知事登録第 1 3 5 6 号）

環境管理責任者 松田裕一郎

連絡担当者 力久尚之

（0 9 5 4 - 3 6 - 4 3 8 1）

梶原設備工業

1965.2

梶原設備工業 設立

1975.5

有限会社梶原設備工業 設立
梶原 昇が代表取締役就任

松田建設

2004.8

松田建設 設立

2005.8

有限会社松田建設 設立
松田 正則が代表取締役就任

2009.5

資本金額を 1,000 万円に増資

2012.8

資本金額を 4,000 万円に増資

2013.6

佐賀県武雄市北方町大字志久
2572 番地 4 へ事務所移転

2017.6

株式会社梶原設備工業に社名変更

2017.6

環境省 エコアクション 21 認証取得

松田建設

2017.9

有限会社松田建設との合併
資本金額を 4,800 万円に増資
松田建設株式会社に社名変更
松田 正則が代表取締役就任

活動規模	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
工事等の件数(建築工事)	件	126	83	66
売上高	百万円	1027	1188	1938
従業員	人	29	29	29
事務所床面積	m ²	250	250	250
倉庫床面積	m ²	100	100	100

認証・登録の範囲

1) 事業活動

建築工事業	大工工事業
左官工事業	とび・土工事業
石工事業	屋根工事業
タイル・れんが・ブロック工事業	鋼構造物工事業
鉄筋工事業	板金工事業
ガラス工事業	塗装工事業
防水工事業	内装仕上工事業
熱絶縁工事業	建具工事業
の設計・施工管理業務	
土木工事業	管工事業
水道施設工事業	

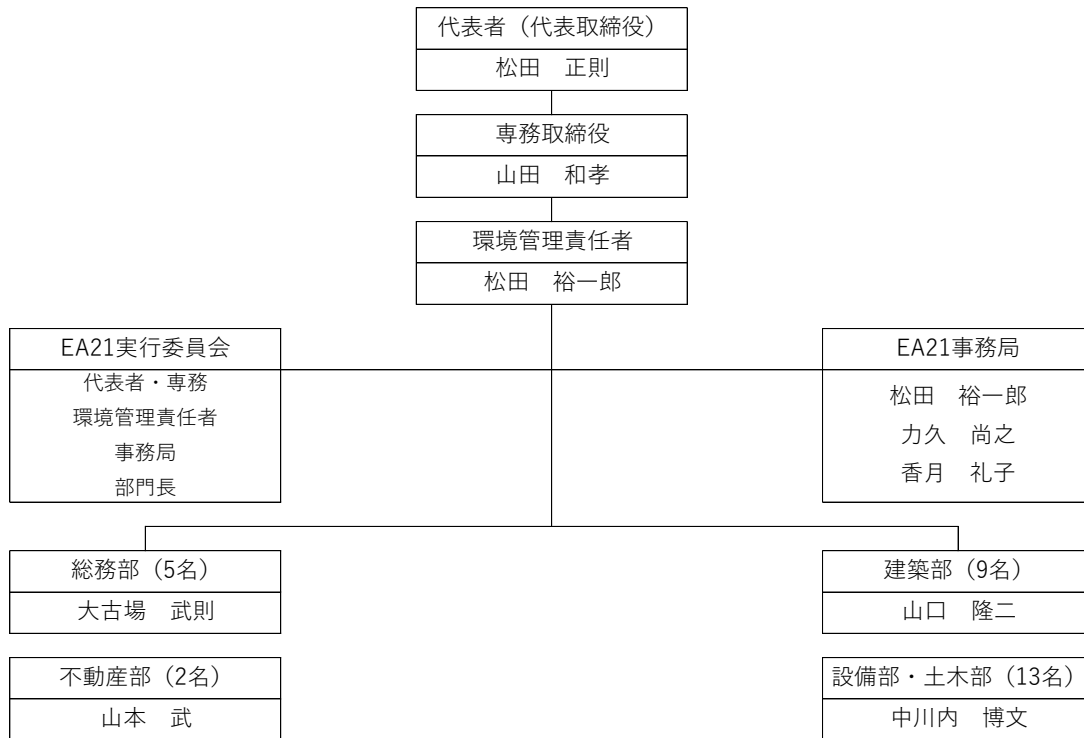
2) 対象事業所

本社:〒849-2201 佐賀県武雄市北方町大字志久 2 5 7 2 - 4



MATSUDA

EA 2 1 推進組織図（実施体制図）



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な。人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境経営レポートの承認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境経営レポートの確認。
EA21実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1回開催し、環境目標及び環境活動計画の実施状況を審議する。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21実行委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

環境経営方針

1) 基本理念

松田建設株式会社は、地域との共生を図り、大切な自然を次世代に引き継ぐ為に、社員一人ひとりが事業活動を通じて環境の保全の重要性を認識し、地球環境及び地域環境に配慮した活動を会社一丸となって取り組みます。

この活動を実現する為、以下の環境経営方針を定め、その方針に基づいて環境の保全及び継続的改善に努めます。

2) 環境保全への行動指針

(1) 次の項目について、具体的に環境経営目標・環境経営計画を定め取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 産業廃棄物の削減及びリサイクル活動の推進
- ③ 水使用量の削減・節水
- ④ 地域貢献活動
- ⑤ 新築・リノベーションの提案

(2) 環境関連法規則を順守します。

(3) 地域の環境保全活動に積極的に参加します。

(4) 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

平成 28 年 9 月 1 日 制定

令和 元年 9 月 1 日 改定

松田建設株式会社

代表取締役

松田正則

環境経営目標

環境経営目標 (原単位)	サイト区分	単位	2018年度 基準年		年度 原単位目標		
			実績値	原単位 実績値/十億円	2019年度 (1%削減)	2020年度 (2%削減)	2021年度 (3%削減)
			2018年9月～2019年8月		2019年9月～ 2020年8月	2020年9月～ 2021年8月	2021年9月～ 2022年8月
売上高		十億円	0.949	1	1	1	1
1 二酸化炭素排出量の削減	全社	Kg-CO2/年	115,721	121,940	120,721	119,501	118,282
① 電気使用量の削減	全体	kWh	39,663	41,795	40,963	40,139	39,324
② ガソリン使用量の削減	全体	L	37,032	39,022	37,863	36,727	35,614
③ 軽油使用量の削減	全体	L	2,509	2,644	2,540	2,439	2,341
2 産業廃棄物排出量の削減	全社	t/年	360	379	361	343	326
3 水使用量の削減	全社	m3/年	24	24.0	24.0	24.0	24.0
4 新築・リノベーションの提案	全社	件数	4	5	5	6	7
5 地域貢献活動の推進	全社	回/年間	4	5	5	6	7

備考：()内%、回は、平成29年度の実績をベースとしての削減率又は増加率。

※令和2年度までは平成26年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：

九州電力 実排出係数 0.584 kg-CO₂/kWhにより算出しています。

※令和3年度からは令和3年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：

九州電力 実排出係数 0.385 kg-CO₂/kWhにより算出しています。

環境経営計画

2021年度(2021年9月～2022年8月)

1、二酸化炭素排出量の削減

取組項目		責任者	活動計画
1	電気使用量の3%削減	松田	①室内空調設備 夏期:26℃設定 冬期:22℃設定
		松田	②不要電力の消費抑制(昼休み、廊下、トイレ、不在箇所等)
		松田	③パソコンの電源OFF
2	ガソリンの3%削減	松田	①エコ運転の推進(急発進、急加速、急ブレーキの削減)
		松田	②駐車時のアイドリングストップ
		松田	③定期的な車両整備の実施(タイヤ空気圧の適正化)
3	軽油の3%削減	松田	①エコ運転の推進(急発進、急加速、急ブレーキの削減)
		松田	②駐車時のアイドリングストップ
		松田	③定期的な車両整備の実施(タイヤ空気圧の適正化)
		松田	④重機のアイドリングはせず、こまめなエンジン停止
4			

2、産業廃棄物排出量の削減

取組項目		責任者	活動計画
1	廃棄物の3%削減	松田	①事務所ゴミ分別を徹底し、リサイクルに努める
		松田	②ペーパーレスの推進(メールの活用、データの電子化)
		松田	③使用済紙の再利用(コピー裏紙、封筒・ファイルの再利用)
		松田	④廃棄物の分別(金属くず、廃プラ、その他不燃ごみに分別)

3、水使用量の削減

取組項目		責任者	活動計画
1	基本料金内での使用維持	松田	①節水運動の推進(スイッチ等に視覚提示)

4、新築・リノベーションの提案

取組項目		責任者	活動計画
1	環境に配慮した新築・リノベーションの提案	松田	①新工法・新建材等の情報収集

5、地域貢献活動の推進

取組項目		責任者	活動計画
1	地域貢献活動(道路維持、除草作業)	松田	①地域貢献活動の実施

環境経営目標の実績(2021年9月～2022年8月)

二酸化炭素排出量の削減

環境経営目標の達成状況と評価

目標項目		単位	目標数値		実績	
					合計	達成状況
①	二酸化炭素排出量3%削減	Kg-CO2/年	229230	目標	229230	○
				実績	188989	
				達成率	121%	
取組目標	電気使用量3%削減	kWh	75329	目標	75329	○
				実績	63150	
				達成率	119%	
	ガソリン使用量3%削減	L	65364	目標	65364	○
				実績	65408	
				達成率	99.9%	
軽油使用量3%削減	L	4268	目標	4268	×	
			実績	4887		
			達成率	87%		
②	産業廃棄物排出量の3%削減	t/年	594	目標	594	○
				実績	408	
				達成率	146%	
③	基本料金内での使用維持	m3/年	24	目標	24	○
				実績	24	
				達成率	100%	
④	新築・リノベーションの提案	件数	7	目標	7	○
				実績	7	
				達成率	100%	
⑤	地域貢献活動の推進	回/年間	7	目標	7	○
				実績	7	
				達成率	100%	
差異の発生の原因と対策		今一度、環境に対する意識向上を図り、エコ運転を徹底する				

達成状況の判定 ○:達成率 99%以上 △:95%以上～99%未満 ×:95%未満

2019年9月以降の環境経営目標(原単価)
【評価結果】

環境経営目標 (原単価)	サイト区分	単位	2018年度 基準年		2021年度 実績			原単価 達成率	評価
			実績値	原単価 実績値/十億円	実績値	原単価 実績値/十億円			
			2018年9月～2019年8月		2021年9月～2022年8月				
売上高		十億円	0.949	1	1.938	1			
1 二酸化炭素排出量の削減	全社	Kg-CO2/年	115,721	121,940	188,989	97,518	125%	○	
① 電気使用量の削減	全体	kWh	39,663	41,795	63,150	32,585	128%	○	
② ガソリン使用量の削減	全体	L	37,032	39,022	65,408	33,750	116%	○	
③ 軽油使用量の削減	全体	L	2,509	2,644	4,887	2,522	105%	○	
2 産業廃棄物排出量の削減	全社	t/年	360	379	408	211	180%	○	
3 水使用量の削減	全社	m3/年	24	-	24.0	-	100%	○	
4 新築・リノベーションの提案	全社	件数	4	-	5	-	125%	○	
5 地域貢献活動の推進	全社	回/年間	4	-	5	-	125%	○	

備考:()内%、回は、平成29年度の実績をベースとしての削減率又は増加率。

※令和2年度までは平成26年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：

九州電力 実排出係数 0.584 kg-CO₂/kWhにより算出しています。

※令和3年度からは令和3年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：

九州電力 実排出係数 0.385 kg-CO₂/kWhにより算出しています。

環境経営計画の取組結果とその評価、今後の取組

2021年度(2021年9月～2022年8月)

1、二酸化炭素排出量の削減

取組項目	責任者	経営計画	スケジュール				評価	今後の取組							
			9～11月	12～2月	3～5月	6～8月									
1 電気使用量の3%削減	松田	①室内空調設備 夏期:26℃設定 冬期:22℃設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	昼休み・外出時にはこまめにPCの電源をOFFにする		
	松田	②不要電力の消費抑制(昼休み、廊下、トイレ、不在箇所等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	松田	③パソコンの電源OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	松田	④現場事務所及び休憩所の消費抑制(不在時の照明・エアコン等)	○	○	○	×	×	○	○	○	○			○	
2 ガソリンの3%削減	松田	①エコ運転の推進(急発進、急加速、急ブレーキの削減)	○	×	○	×	×	○	○	○	○			×	×
	松田	②駐車時のアイドリングストップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	松田	③定期的な車両整備の実施(タイヤ空気圧の適正化)	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
3 軽油の3%削減	松田	①エコ運転の推進(急発進、急加速、急ブレーキの削減)	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	松田	②駐車時のアイドリングストップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	松田	③定期的な車両整備の実施(タイヤ空気圧の適正化)	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	松田	④重機のアイドリングはせず、こまめなエンジン停止	○	×	○	○	○	○	×	○	○			○	○
4															

2、産業廃棄物排出量の削減

取組項目	責任者	経営計画	スケジュール				評価	今後の取組					
			9～11月	12～2月	3～5月	6～8月							
1 廃棄物の3%削減	松田	①事務所ゴミ分別を徹底し、リサイクルに努める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分別を徹底する
	松田	②ペーパーレスの推進(メールの活用、データの電子化)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	松田	③使用済紙の再利用(コピー裏紙、封筒・ファイルの再利用)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	松田	④廃棄物の分別(金属くず、廃プラ、その他不燃ごみに分別)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

3、水使用量の削減

取組項目	責任者	経営計画	スケジュール				評価	今後の取組						
			9～11月	12～2月	3～5月	6～8月								
1 基本料金内での使用維持	松田	①節水運動の推進(スイッチ等に視覚提示)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	節水意識を徹底する

4、環境に配慮した新築・リノベーションの提案

取組項目	責任者	経営計画	スケジュール				評価	今後の取組						
			9～11月	12～2月	3～5月	6～8月								
1 環境に配慮した新築・リノベーションの提案	松田	①新工法・新建材等の情報収集	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	講習会・展示会等は率先して参加する

5、地域貢献活動の推進(道路維持、除草作業)

取組項目	責任者	経営計画	スケジュール				評価	今後の取組						
			9～11月	12～2月	3～5月	6～8月								
1 地域貢献活動(道路維持、除草作業)	松田	①地域貢献活動の実施	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	地域に根付いた活動を行う

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

主な環境関連法、法令	遵守状況	評 価	事務所、建設現場ともに、環境関連法規及び条例等を遵守しており、過去3年間においても関係当局から違反等の指摘はありません。
建築業法	○		
水道法(第51条の2.3)	○		
廃棄物処理法(第12条)	○		
労働安全衛生法(第59条)	○		
作成日: 令和4年9月1日			
環境管理責任者 松田 裕一郎			

代表者による全体の取組状況の評価及び見直し

見直しに必要な情報			代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案			変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 ① 環境関連法規等の遵守状況 環境関連法規等への違反、訴訟はありません。			【環境経営方針】 変更の必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
② 問題点の是正処置及び予防処置の状況 省エネ運転ほか混合廃棄物分別を徹底し、再資源化と混合廃棄物の削減を推進します。			【コメント】 環境に対する社員の意識向上については今後も徹底し、より環境に配慮した企業となるように全社員で取り組む。	
③ 前回までの代表者の指示事項への対応 環境負荷の低減、削減に努めました。			【環境経営目標・環境経営計画】 変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
【目標・計画の達成状況】			【コメント】 原単位の目標を設定し比較検討することで、より正確な状況を把握することができた。	
目標項目	達成状況	コメント	【実施体制】 変更の必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【コメント】 引き続き現在の環境管理実施体制で取り組む。	
二酸化炭素排出量削減	○	今後も削減に努めます。		
電気使用量削減	○	昼休み・外出時にはこまめにPCの電源をOFFにする		
ガソリン使用量削減	○	今後も削減に努めます。		
軽油使用量削減	×	重機作業の増加による		
産業廃棄物排出量削減	○	分別を徹底します。		
水使用量削減	○	節水意識を徹底します。		
新築・リノベーションの提案	○	講習会・展示会等は率先して参加する		
地域貢献活動の推進	○	地域に根付いた活動を行う		
【周囲の変化の状況】 ① 外部コミュニケーション記録より 苦情はありませんでした。			【総括】	
② 環境関連法規等の動向他 ありませんでした。			二酸化炭素排出量・産業廃棄物排出量については、原単位の目標を設定し、比較検討することにより目標値を達成することができた。 引き続き取り組みを継続し環境負荷の低減・削減に努め、地球環境及び地域環境に配慮した活動を会社一丸となって取り組みます。	
代表者が自ら得た情報			作成日: 令和4年9月1日 代表取締役 松田 正 則	
特になし				